

くまむら

議会だより

2014.10.27

76号



10月10日（金）に行われた高齢者健康祭

目次

9月の定例会	2～3
決算審査特別委員会報告	4
8月の臨時会・議会構成	5
一般質問	6～11
大久保地区溜池「つつみ」百周年記念	12

球磨村世帯数 1,567世帯

人口 4,117人 男：1,954人 女：2,163人

（平成26年10月1日現在）

補正予算1億2,993万5千円を可決 林道東俣線開設工事などに

9月 定例会



開設される林道東俣線（中間付近の黄檗地区上）

13 議案を上程

初日の8日には、松野議長の開会宣言後、6月定例会以降の諸般の報告、舟戸議員に

第10回9月定例会は、9月8日から19日までの12日間の日程で開催され、平成25年度財政健全化判断比率等の報告、平成25年度一般会計及び特別会計決算の認定5件、条例制定4件、平成26年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算3件で、報告を除く12件を審議、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日の19日には、追加日程で、契約1件、選任同意1件、決議案1件を上程、契約では、工事請負契約の締結を原案どおり可決し、選任同意では、教育委員会委員に中井久美さんの選任に同意、決議案では、犬童数元議員の議員辞職勧告決議案を可決しました。

一般質問では6人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをたえました。

今定例会では、決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計5件について、各課長に説明を求めて、質疑と審査を行い、本会議において結果報告をしました。

よる例月現金出納検査結果報告、また、人吉球磨広域行政組合議会の報告を嶽本議員が行いました。

議案は、財政健全化法によ

り、地方公共団体の財政状況を判断する財政健全化判断比率の算定公表が義務付けられたもので平成25年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について柳詰村長から基準を下回る報告がありました。

次に、平成25年度球磨村一般会計及び特別会計決算認定の上程後、豊永征介代表監査委員による同歳入歳出決算審査結果等の報告が行われました。続いて、球磨村保育の必要

一般質問

性の認定に関する条例の制定等条例関係4件、平成26年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算3件の13議案を上程しました。

11日と18日には、田代利一議員、犬童勝則議員、多武義治議員、小川俊治議員、舟戸治生議員、高澤康成議員が一般質問に登壇、共助の村づくり支援事業や本村農業の将来像、廃屋対策、土砂災害対策、抜本的な治水対策・急傾斜地対策など多岐にわたって執行部の考えを質しました。（詳細は5頁～10頁に掲載）

決算審査特別委員会

今定例会では、全議員を委員とした決算審査特別委員会を設置、9日と10日には、各課長に決算書に基づいた説明を求めて質疑と審査を実施、18日の総括では、討論、採決の結果、認定を決定しました。（詳細は4頁に掲載）

全議案を原案可決

最終日の19日には、平成25年度球磨村一般会計及び特別会計決算5件について、多武委員長が決算審査特別委員会の結果を報告、その後挙手による採決の結果、挙手多数により、いずれも認定しました。

条例関係では、平成24年に制定された子ども・子育て関連3法関連によるもので、①球磨村保育の必要性の認定に関する条例、②球磨村特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例、③球磨村家庭的保育事業等の設備及び運営に

関する基準を定める条例、④
球磨村放課後児童健全育成事
業の設備及び運営に関する基
準を定める条例を原案のお
り可決しました。

補正予算

予算関係では、平成26年度
球磨村一般会計及び特別会計
補正予算を審議後可決しまし
た。

一般会計補正予算の主なもの
は、コミュニティバス運行
委託料10,000千円、村
道全線維持費17,546千
円、林道東俣線開設工事4
3,000千円等で、合計1
29,935千円を追加、歳
入歳出総額3,648,63
8千円となりました。

追加議案

追加提案された工事請負契
約の締結は村道渡大槻線の改
良工事で、予定価格が5,0
00千円以上となるため、議
決を求めたもので、昭和建設
(株)と82,512千円の
契約を可決しました。

平成26年9月定例会 議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
認定第1号	平成25年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定
認定第2号	平成25年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
認定第3号	平成25年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
認定第4号	平成25年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
認定第5号	平成25年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定
議案第29号	球磨村保育の必要性の認定に関する条例の制定について	原案可決
議案第30号	球磨村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第31号	球磨村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第32号	球磨村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第33号	平成26年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
議案第34号	平成26年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第35号	平成26年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第36号	工事請負契約の締結について	原案可決
同意第2号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意
決議第1号	議員辞職勧告決議案について	原案可決

平成25年度決算を認定しました 決算審査特別委員会を設置

平成25年度の一般会計や特別会計をより詳しく審査するため、今回初めて議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。委員長に多武義治議員、副委員長に田代利一議員を選出し、9月8日より9月10日までの3日間にわたり執行部より提出された決算書並びに関係資料を担当課長の説明を求めながら審査を実施しました。その結果、行政区再編に伴う班長の待遇のあり方の検討や神瀬福祉センター「たかおと」、田舎の体験交流館「さんがうら」の経営の安定化に努めるなど14項目の意見を付して認定すべきものと決定しました。



日本の健康寿命は世界一です

特別会計

■国民健康保険

歳入	625,277千円
歳出	584,111千円

■後期高齢者医療

歳入	52,703千円
歳出	52,675千円

■介護保険

歳入	683,833千円
歳出	667,802千円

■簡易水道

歳入	67,955千円
歳出	56,347千円

■一般会計

歳入

村 税	240,814千円
地方譲与税	35,817千円
地方消費税交付金 他	38,911千円
地方交付税	1,989,595千円
分担金及び負担金	18,629千円
使用料及び手数料	28,603千円
国庫支出金	486,713千円
県支出金	309,112千円
財産収入	84,216千円
寄付金	635千円
繰入金	3,001千円
繰越金	187,185千円
諸収入	30,691千円
村 債	276,345千円

計 3,730,267千円

歳出

議会費	61,208千円
総務費	858,019千円
民生費	863,622千円
衛生費	215,372千円
農林水産業費	333,161千円
商工費	19,819千円
土木費	239,809千円
消防費	119,041千円
教育費	281,779千円
災害復旧費	217,936千円
公債費	377,144千円
諸支出費	1,441千円

計 3,588,351千円

8月臨時会

第8回臨時会

第8回臨時会は、8月5日、1日間の日程で開かれました。

臨時会では、一般会計補正予算1件を上程、原案のとおり可決しました。

補正予算の内容は、庁舎耐震改修工事に伴う監理委託、



耐震改修工事が始まった役場庁舎

第9回臨時会

工事請負費、備品購入費の合計1億2,541万7千円。これは、第7回（7月14日）臨時会において、説明十分として、修正動議を可決し、予算の一部修正をしていったものです。

第9回臨時会は、8月25日、1日間の日程で開かれました。

臨時会では、工事請負契約の締結1件を上程、原案のとおり可決しました。

これは、役場庁舎耐震改修・増改築工事の契約で、光進建設（株）人吉支店との契約締結です。契約額は、251,640千円。



仮事務所となる清流館の移設工事

委員長・副委員長を決定 10月からの議会構成

議会構成は、5月9日の初議会で決定していましたが、犬童数元議員の議員辞職（9月22日）に伴い、同議員が所屬し、委員長を務めていた委員会（議会運営委員会、文教厚生常任委員会、球磨川改修事業等対策特別委員会）の委員長、副委員長を互選により決定しました。

議会の構成

議席

議席番号

氏名

1	小川 俊治
2	浅野 茂
3	犬童 勝則
4	舟戸 治生
5	嶺本 孝司
6	高澤 康成
7	多武 義治
8	田代 利一
9	松野 富雄
議長	松野 富雄
副議長	田代 利一

総務常任委員会

委員長	多武 義治
副委員長	嶺本 孝司

文教厚生常任委員会

委員長	高澤 康成
副委員長	犬童 勝則

経済建設常任委員会

委員長	田代 利一
副委員長	舟戸 治生
	小川 俊治
	犬童 勝則

議会運営委員会

委員長	田代 利一
副委員長	多武 義治
	舟戸 治生
	嶺本 孝司

球磨村水防協議会委員

舟戸 治生
小川 俊治
浅野 茂
犬童 勝則

球磨川改修事業等対策特別委員会

委員長	田代 利一
副委員長	舟戸 治生
	多武 義治
	嶺本 孝司
	高澤 康成

球磨村議会広報対策特別委員会

委員長	多武 義治
副委員長	犬童 勝則
	小川 俊治
	浅野 茂

議会選出監査委員

舟戸 治生

人吉球磨広域行政組合議員

多武 義治
嶺本 孝司

人吉下球磨消防組合議員

高澤 康成

共助の村づくり支援事業補助金の補正と次年度の予算化は

〔答〕次年度予算化と本年度補正を計画

田代 利一 議員

- 一、空き家対策について
- 二、共助の村づくり支援事業、補助金状況
- 三、地域の安心、安全対策について
- 四、メガソーラーについて

田代議員 〓 本村に空き家は何軒あるのか。

柳詰村長 〓 近年調査していない。平成14年の調査では60軒あり詳しい内容は把握していない。空き家調査票を配布し、データ化、活用などを含め対策する。

田代議員 〓 景観整備が悪いことで空き家の村購入がなされたところがあるが、その他の地区での対応は。

部総務企画課長 〓 「かわせみ」の周辺の景観整備に力を入れていたことから買い上げた。今のところ、他の地区の整備も進んでいない。

田代議員 〓 村営住宅への利用など、地区担当職員による調査、把握も大事ではないか。今後、空き家を増やさない対策は。

柳詰村長 〓 所有者の権利もあり大変難しい。空き家の利活用について

は、現状把握をした上で、内部で検討していきたい。今のところ対策はとっていない。

田代議員 〓 空き家対策として、条例化の考えは。

部総務企画課長 〓 定住促進と廃屋対策の2面でまとめている。国の特別措置法案の動向を注視しながら、統一した条例化ができないか取り組んでいく。

田代議員 〓 定住目的での改修には助成金の創設も必要だと思うがどうか。

部総務企画課長 〓 所有者の意向もあり、居住が可能か、修繕が必要か、調査権がないので外観での判断となる。

田代議員 〓 次に、共助の村づくり支援事業補助金の利用状況を伺う。

柳詰村長 〓 今のところ、申請件数52件、補助金支出総額190万円だ。補助項目の内容検討課題も出ている。

部総務企画課長 〓 最も多いのは生活環境整備で45件、150万円程度の支出だ。

田代議員 〓 共助の村づくり支援事業補助金、今後も毎年続けるのか。

部総務企画課長 〓 新年度もぜひ続けさせていただきたい。

田代議員 〓 次に、ネット犯罪に巻き込まれない取組と小中学生の携帯保有数を伺う。

柳詰村長 〓 小学4年生以上の全保護者へのアンケート調査等利用に関するアンケート調査の実施や、夏休み前に青少年育成村民会議を開催した。また、携帯、スマートフォン等の安全利用をテーマに講演会の実施や、本年度中に村内統一した情報モラルのルールづくりを目指す。

中根教育長 〓 12人が保有している。理由は保護者との連絡用だ。保護者や家族の携帯やスマートフォンを使用している小学生は33人、中学生で34人が使用できる状況で危惧している。

田代議員 〓 1日の使用時間や、保護者の認識は。

中根教育長 〓 30分未満が多いが、



村内でも増えている空家

2時間以上もある。現在のところ犯罪に巻き込まれるトラブルは起きていない。

田代議員 〓 通学時の見守りと交通事故に対する対策は。

中根教育長 〓 学校応援団の一環として高齢者をお願いしている。予算の範囲で危険な所から前向きに取り組む。

田代議員 〓 メガソーラーの現状について伺いたい。

柳詰村長 〓 業者と九電との契約で進められている。進捗については、その都度、議会、村民に知らせる。

(質問時間60分)

本村農業の将来像は

〔答〕地域の集落営農の組織化の推進が必要

犬童 勝則 議員

一、農業振興について

犬童議員 〓 本村にとって、農業は地域の経済を支える基幹産業であり、その振興は本村の発展にとって欠かす事のできないものである。

そこで、5年後・10年後の将来を見据えた上で、球磨村の目指す農業の姿はどのようなものなのか伺いたい。

柳詰村長 〓 強い農業経営の支援、高齢者でも稼げる農業の推進、農地の保全、持続可能な農業への支援の4つを重点目標として掲げている。

農家の所得向上を目指した農産物の販路拡大や、6次産業化の推進、効率的、かつ安定的な農業経営への支援、耕作放棄地の解消及び、発生防止。集落を構成する小規模農家への支援を図り、永続的に農業を続けられるよう地域で支え合う集落営農の組織化の推進が必要である。

犬童議員

〓 経営支援について、前回の議会でも要望調査によるニーズに応じた補助率の見直しが必要と答

弁されているが、具体的な内容の説明を伺いたい。

柳詰村長

〓 これからの農家の実状、ニーズに応じた補助メニューへの転換と補助率の見直しが必要であると思っている。検討させて頂きたい。

犬童議員

〓 村内の認定農家への支援はないか伺いたい。

宮本産業振興課長

〓 経営規模拡大のための農地所得や、機械購入等を行う認定農家へ財政的な支援や、新規就農者奨励金の支給等を行っている。

犬童議員

〓 認定農家には1人単独でも補助事業が適用できないものか伺いたい。

宮本産業振興課長

〓 30%の補助が基本であると思うが、上限を30万円に抑えるとか、年間3人にするといった枠組みを決めた上で、申し出があった方々から審査をして、順次要望に応じていく方向性もあるかと考えている。

犬童議員

〓 物産館「かわせみ」の売り上げと地元出荷割合を伺いたい。

宮本産業振興課長

〓 25年度は17,634,320円の売り上げとなっており、村内の出荷割合は55%である。

犬童議員

〓 物産館に足を運ぶお客様は、そこにしかないものを求めている。

いるのだから、地元産の割合を多くする事は、売り上げを伸ばす上で、重要な要素だと思っている。

次に、品目的振興策として本村でも栽培可能だと思っている太秋柿の振興について伺いたい。

宮本産業振興課長

〓 早期に園地化する事が必要で、栽植してすぐ収益が上がる作物ではないので、農家の方が1つの作物として太秋柿を取り組まれるような方法を考えている。これから講習会等をする中で、推進して行きたい。

犬童議員

〓 棚田を使ったイベント等での地元負担が大きかった気がする。地元住民が楽しんで参加できるようなイベント運営はできないものか伺う。

柳詰村長

〓 球磨村の棚田であるが、中山間地にあつて先人の人達が苦勞の末に築きあげた歴史があり、景観としてすばらしいものがあるが、田畑の保全には多くの労力が必要である。環境整備や、耕作放棄地の解消のために、村では中山間地域直接支払い制度や、農地水環境保全管理支払い交付事業による推進、集落営農による取り組みの支援を図っていききたい。

(質問時間60分)



鬼の口棚田（一勝地）

廃屋の解体に助成するなどの要件を入れた条例の制定を

〔答〕 条例化を進めている自治体を調査し検討したい

多武 義治 議員

- 一、廃屋対策について
- 二、債権の消滅時効について
- 三、熊本県町村長海外研修について

多武議員

〓 廃屋は、景観上も好ましくなく、衛生上も問題がある。また、犯罪や非行の温床となることも考えられる。村内の廃屋の実態は。

柳詰村長

〓 平成14年に空き屋調査した時は、村内で60軒だった。しかし、現状はかなり変わっていると思う。今後、区長を通じて調査を行う予定だ。

多武議員

〓 廃屋を解体する場合、費用の一部を助成するなどの要件を入れた条例の制定に取り組んでいただきたい。

柳詰村長

〓 条例化を進めている自治体もあるので、調査を行い対応を検討していく。

多武議員

〓 次に、本村の自主財源の根幹をなす村税などの徴収には、日々努力していると思う。しかし、一方では滞納も見受けられ、その固定化も進んでいる。戸別訪問などを行い徴収の努力は認めるが、中には

時効により不能欠損（債権の消滅時効）で処理しているケースもある。

このことは、村が徴収する税などの公平な取り扱いが損なわれていると感じた。

柳詰村長

〓 公平性の観点から、納税者に対し不能欠損とならないよう努力をしているところだ。しかし、徴収できない場合は法律に基づき不能欠損で処理している。

多武議員

〓 テレビの利用料の滞納が非常に多く目立つ。これは、利用者の滞納ではなく、金融機関で利用者が捺印した印鑑が鮮明でないなどの理由により引き落としができない事務手続上の問題だ。スピード感をもって対応するようお願いする。

部総務企画課長

〓 事務の不手際でこのような結果になっている。

テレビを見ながら利用料を払っていない人もたくさんおられる。利用者宅を職員手分けして回り早く解決したい。

多武議員

〓 村税などの債権の多くは、5年で時効になり不能欠損で処理されるが、処理する前に時効の中

断など実施しての結果か。

永椎税務課長

〓 基本的には時効の中断で対応しているが、中には非常に厳しいところもあり、その結果不能欠損となる。

多武議員

〓 債権の消滅時効について法律では、滞納が発生した場合、まず督促をする。

それでもだめなら時効の中断や、その他必要な措置をとらなければならぬというのが解釈だ。重要なのは、必要な措置をやってもやらなくてもよいとは言っていない。要するに、村長の自由裁量権ではないということである。これを守らないと、徴収を怠る事実として住民監査請求や住民訴訟で、村長個人の責任が追求される可能性もあるが。

柳詰村長

〓 村税や使用料などの滞納が年々増え、それに伴い不能欠損も増加している。これには、危機感をもって対応しなければならない。



崩壊した廃屋

納税の公平性な観点からも、内部でよく調査し対処する。

多武議員

〓 次に、8月に実施された町村長海外研修の感想を。

柳詰村長

〓 研修先はインドネシアだった。中でも世界遺産の棚田が見渡すかぎり耕作され、多くの観光客が訪れている。

球磨村にも、先人達が大切にしてく

れた松谷、鬼の口棚田がある。保存して、後世へ残す必要性を強く感じた。

多武議員

〓 参加したためになったのか。

柳詰村長

〓 私はためになった。（質問時間50分）

コミュニティバスの負担増軽減は

〔答〕産交バスと協議の上対処

小川 俊治 議員

- 一、土砂災害対策について
- 二、農業用水路及び取水口の改修について
- 三、コミュニティバスの運行について
- 四、改正地方教育行政法の運用について

小川議員

不安を抱える住民の皆さんに安心を与える対応をお願いしたい。土石流対策で砂防指定地に監視カメラを設置する考えはないか。

川口建設課長

ソフト上の運用と

小川議員

予防的避難、自主防災組織の現状について伺う。

部総務企画課長

今回、緊急で6施設を予防的避難施設として開設した。安心感を持たれたと確信している。施設の不備があるので早急に対処したい。

自主防災組織については防災会議、地域の自治会組織で自主防災組織的な規約もあるので周知したい。

小川議員

農業用水路、取水口改修での負担軽減について村としての考えは。

柳詰村長

農業用基盤整備事業で行う改修事業の村補助を中山間地域15%、一般地域10%とした。

小川議員

国庫補助事業、小規模災害復旧事業の要望について負担軽減となるよう取り組んでもらいたい。

また、公有地からの落石で用水路及

び里道が被害にあっているが、改修の考えは。

川口建設課長

地権者・管理者の考えなど意見を聞きながら対処したい。

小川議員

コミュニティバスの運行について、福祉バス運行時と比べ乗継での負担増、渡から人吉への利用の場合の負担増、「たかおと」を起点とする役場からのバスに乗れないのか。見直しの考えは。

部総務企画課長

福祉バスは1乗車2000円、コミュニティバスは1乗車1000円、乗り換えで2000円となり同額となる。渡から人吉の利用で高くなっている分については、割引券の発行とか産交と協議して実施できればと思う。「たかおと」から起点の朝1便の産交バスは回送であり乗れない。一勝地タクシーの利用については広報で周知したい。

小川議員

次に、教育委員会制度改革について、新聞のアンケートによると、今後の運用について影響はないとの回答だが。

柳詰村長

いじめによる自殺問題で指摘された教育委員会の対応の遅れや隠ぺい体質、責任のあいまいさを改善するのが狙い。新制度が有効に機能するかはその運用にある。

村行政と教育行政との協議を十分図っており、新制度に移行してもこれまでどおり連携を密にして、教育の振興発展に取り組んでいく。

中根教育長

基本的な事項や重要な事項については、教育委員会だけではなく、村長部局と連携して取り組んでいくものと認識している。

総合教育会議の設置についても、直接的に教育現場に影響が与えられるとは考えにくい。

(質問時間50分)



今年から運行が始まったコミュニティバス

人口減少の歯止め策として婚活に多くの予算を

〔答〕ひきつづき地道に取り組む

高澤 康成 議員

一、農林業の振興について
二、若い世代が誇りを持てる村づくり

高澤議員

「農業は本村にとって地域経済や社会を支える基幹産業である。将来において農業が魅力とやりがいのあるものとするため、現在における支援のあり方、農業経営の支援の見直しについて伺う。」

柳詰村長

「持続可能な支援は産業振興補助事業により基盤整備が行われてきた。実情を把握してニーズに応じた補助メニューや補助率の見直しが必要であると考えてる。」

強い農業経営への支援策は村の新規就農奨励金の助成による支援と、国の青年就農給付金がある。稼げる農業への支援策としては抑制カボチャなど6つの作物の他、ミシマサイコを村の振興作物として高齢者でも取り組める作物の栽培を支援している。

高澤議員

「農業においては所得を上げなければ安定した生活を営むことができないと思うが。」

柳詰村長

「球磨村の振興作物であ

る甘長とうがらしやミシマサイコの栽培能力も上がっている。このことが、年金プラスアルファになればと考えている。」

宮本産業振興課長

「認定農業者への支援については、球磨村の基幹産業である農林業の振興という中で重要な課題だと認識している。」

専業農家に対しての機械の補助については対応を検討中だ。

高澤議員

「村長が、現在掲げておられる農業振興策を実現するためには、産業対策費補助事業例規集の特記事項を摘要してはどうか。」

柳詰村長

「補助メニューの見直しもやっていかなければならないと思うが、個人に対しての補助事業については、定められたところでやっていく。」

高澤議員

「6次産業化が進んでいない現状をどう思っているか。」

柳詰村長

「高沢地域においてタケノコ園の園地化というモデル事業を実施した。ただ、6次産業化については、村主導ではなく地域と一緒にやって話し合いながら慎重にさせて

いただく。

高澤議員

「次に、若い世代が誇りを持てる村づくりについて、高齢化率は高く人口減少がつづく現状を踏まえ、本村の未婚者率、少子化等の対策が不明瞭で改善の兆しすら見いだせない状況であると考えてる。今後における対策は。」

柳詰村長

「若者向けの子育てしやすい住宅建設、家賃対策や婚活イベントの実施による独身者対策、さらには空き家バンクの創設と活用などに取り組む。」

高澤議員

「若い世代の人口比率が少ない。いろいろな支援の対策は講じているのに、なぜ人口減少が続くのか、要因を分析されているか。」

部総務企画課長

「本村においても未婚者が多数おられ、婚活等を実施して、ある程度の成果はあるが参加したい人が少ない。」

結婚をしたいと思わせる様なイベントも必要かと思われる。

瓜生住民福祉課長

「子育て支援に



農業の将来は

については審議会を通じて計画を作っている。本村は手厚い子育て支援をしており、特に保育料については他町村より相当安い。」

高澤議員

「婚活に予算を多くし、いろいろな団体に要請をかけ、協力していかなければ、人口減少の歯止めはきかない。しっかりと、10年後を見据えなければならぬ問題だと思ふが。」

柳詰村長

「人口減少は今、日本中で進んでいる。婚活についてもひきつづき地道に取り組む、何としても人口減少には取り組んで行きたい。」

(質問時間60分)

峯川の拡幅工事などは村が対応すべきか

〔答〕村が主体になるが国県と一体となつて進める

舟戸 治生 議員

- 一、豊かな自然資源の保全
- 二、抜本的な治水対策と急傾斜対策
- 三、共助のこころの育成

舟戸 議員

水資源に関し、飲料水に使われている代表的な水源と、その水源の流量について説明を。

柳詰 村長

村内の飲料水の現状は、村が管理している簡易水道が4施設、水道法による100人規模の施設が3組合、地域で管理している施設が39地区ある。

また、水源の流量は、水道法で認可を受けている施設では、流量能力と配水流量を定期的に確認している。地区の施設については、先月、施設の代表者を集まってもらい、地区が抱える問題などの実情についての話を聞いたところだ。

舟戸 議員

現在の水量に余裕があるとするれば、どれくらいなのか。

大瀬健康衛生課長

村が管理する村営簡易水道全体では、約3500人分の水量に余裕がある。

舟戸 議員

今のところ流量にも余

裕があると思うが、いづれかは水源にも限界がくるものと思う。そうならないよう、水源の上流部に水源かん養保安林化を進め、保全を図る必要があると思う。

また、最近は民有林が荒れていると感じる。そこで、立木を伐採する場合、伐採後の植林について、どのような指導をしているのか。

宮本産業振興課長

伐採した後、植林しない状況も発生している。国土保全や水源かん養の面から、当然植林しなければならぬと思つている。森林組合とも一体となつて植林するよう進めているところだ。

舟戸 議員

保安林に指定されるとどうなるのか。

永椎税務課長

固定資産税や不動産取得税が非課税になる。

舟戸 議員

次に、治水対策について、8月8日、国、県による渡地区の浸水被害軽減対策の住民説明会が行われた。渡地区には、相良橋などのかさ上げなど、まだ、たくさん問題が残っているが。

柳詰 村長

住民説明会は、流域の市町村から国、県に対して、ダムに

よらない治水を検討する場の内容を住民へ説明するよう要望したことを受けて開催された。今後も、相良橋などの問題についても国、県に要望活動は続けていく。

舟戸 議員

村長は、治水対策の安全度は下げたくないと言つておられるが。

柳詰 村長

渡地区の治水対策の安全度は5分の1で、5年に1回は被害を受ける計算になる。とても受け入れがたく、県知事や県議会、さらには国交省にも高い安全度になるようお願いしたい。

舟戸 議員

説明会の中で、峯川の拡幅や小川川の両岸にある用水路の問題は、村が対応すべきとの説明だったが。

柳詰 村長

村が主体になるが、国、県と一体となつて進めたい。

舟戸 議員

次に、日本で最も美しい村連合に加盟して1年が過ぎた。共助の村づくりについてのアンケート結果を知りたい。

宮本産業振興課長

地域コミュニティが弱体化している

中、地域の伝統文化や活動には、ぜひ支援をお願いしたいとの意見が多かった。

舟戸 議員

次に、買い物弱者対策について、今も多くの買い物弱者とふだんから安否確認を必要とする人がいる。それぞれの実情に合った支援策はないものか。

柳詰 村長

買い物者が困難な人への対応として、光ケーブルを利用した買い物支援や高齢者の見守りなど検討したが、多額の費用がかかることから、進んでいない状況だ。今後、多方面からの意見を聞きながら検討したい。

(質問時間 60分)



水道組合施設 (神瀬)



大久保地区溜池「つつみ」 百周年記念

大久保地区班長 大無田 清和



神事が行うことができた。

場所を変え、田舎の体験交流館「さんがうら」にて、祝賀会を行いました。祝賀会では、大無田正明氏（97歳）に「大久保溜池と大無田清作さん」という講話をしてもらいました。

昔、大無田地区に住んでいた大無田清作さんが、この山の中に溜池を作り、見晴らしのいいこの場所に大久保地区を開拓したお話を聞くことができました。

来賓の方々をまじえ、昔からの大久保やつつみについて楽しい一日を過ごすことができました。

私達は、人吉球磨が一望に見晴らせる眺めのいい大久保・住み良い大久保・命の源でもあるこの「つつみ」を管理し、ご先祖様に感謝し、大久保に住んでいきたいと思えます。個人的には、偉大なひいじいちゃんのおかげで、たくさん家族と楽しく過ごせ、美味い焼酎が飲めることに感謝します。

編集後記

今期から、広報委員を担当する事になりました。よろしく願いします。平成26年は記念すべき年となりました。大久保地区の溜池「つつみ」、一勝地梨の二十世紀梨の原木が共に100周年を迎え、盛大に記念式典が行われました。今から100年前の大正3年、幾多の試練と試行錯誤を重ね、両地区の農業の振興と発展に多大な功績をもたらした。歴史の重み、先人達の知恵に感謝の気持ちを持ち続け、偉大な姿をこれからも見守っていききたいと思っています。

（犬童 勝則）



二十世紀梨の原木

広報委員長 多武 義治
広報副委員長 犬童 勝則
広報委員 小川 俊治
浅野 茂